

# 根上中だより

E-mail [neagari-jhs@school.city.nomi.ishikawa.jp](mailto:neagari-jhs@school.city.nomi.ishikawa.jp)

HP <https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/neagari/>

NO. 1

発行者 根上中学校校長 木下 浩明

TEL 0761-55-0160

FAX 0761-55-0456

## ■新任の教職員を紹介します！

教頭	佃 洋子	(川北中より)
教諭	岡倉千鶴子	(寺井中より)
教諭	斉田 正春	(辰口中より)
教諭	泉 栄之進	(小松市芦城中より)
教諭	高澤 美緒	(小松市丸内中より)
講師	村上 祐美	(新採)
事務	山下 愛加	(福岡小より)



## ■「やってみよう！」+「伸びる子」+「朝の力」

(始業式の「校長の話」から)

さて、令和3年度の新学期のスタートです。2年生、3年生に進級した皆さん、進級おめでとう。今、皆さん一人ひとりの気持ちは、やる気で満ちているのではないのでしょうか？昨年度の自分を振り返り、やりたいこと、頑張りたいことがあるはず。そんな皆さんに言いたいことは「やってみよう！（挑戦）」です。やれば必ず結果が生まれます。成功も失敗もあります。成功は自信を生みます。失敗は課題を生みます。課題を克服すれば、強さが生まれます。可能性が広がり、新しい自分に出会えます。やる前にあきらめたら・・・可能性がなくなります。ぜひ、やる気に満ちた今の皆さんに、「やってみよう！（挑戦）」を実践してほしいと思います。

次に、「伸びる子」について、今年も継続です。あいさつができる生徒、掃除ができる生徒、素直に話が聞ける生徒は伸びます。進学しても、社会に出てからもかわいがられて育ちます。根上中の生徒には、「伸びる子」になってほしいと思います。

最後に、「朝の力」については、朝早く起きる、朝ごはんをしっかり食べる、朝のあいさつをするの3つです。朝はその日のスタートです。スタートに元気が大切です。朝をがすべてを制します。朝の生徒玄関で、元気が伝わる生徒になってください。

昨年1年間、「がんばろう根上中！」で「いいねー根上中！」がいっぱい生まれました。今年も「がんばろう根上中！」

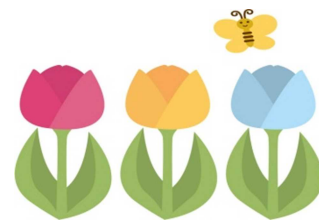
# ■新型コロナウイルス感染症対策の徹底！！

(始業式の「校長の話」から)

コロナ禍での緊張の新学期スタートです。昨年の4月と比較すれば、効果的な感染防止対策が講じられ、医療体制が整備され、さらにはワクチン接種が始まりと、ウィズコロナ、ポストコロナが日本だけではなく、世界中で進んでいます。しかし、新型コロナウイルス感染症(covid-19)が猛威を振るい、多くの人が感染し、中には命を落とす人もいることは、皆さんも報道等でご存じのとおりです。さらに最近、より感染力が高く、若い世代への感染も多い変異種による感染が拡大しています。

日本においても、感染拡大防止のために、緊急事態宣言が発令されたり、石川県においても注意報が発出されたり、感染状況に応じての対応が繰り返されています。3密(密集・密閉・密接)を回避するために、不要不急の外出は避ける、マスクを着用する、ソーシャルディスタンスをとる、手指消毒を徹底する、換気を行う、外出時には検温し風邪発熱等があれば外出を控え医療機関と対応を相談し適切に対応する等の感染予防が継続されています。根上中学校においても、安全安心を第一に、感染予防対策は継続していきます。

## ■保護者の皆様へ(お知らせ)



### ●朝の家庭での検温の徹底を！

・学校では、感染防止のため、登校時に玄関で検温の結果をチェックしています。

※検温忘れや検温したけど保護者の方の確認(サイン・印)がないケースがあります。朝、各家庭で確実に検温を行い、微熱や風邪症状があるときは、無理に登校せず、様子や状況に応じて、医者への相談・受診等も含めての対応をしてください。あわせて、学校への欠席連絡も忘れずに。



### ●水分補給のために多めに水分を持たせて！

・学校では、不特定多数の人が使うことから、感染防止のため、水道の蛇口から生水を飲むことは禁止しています。冷水器については、水筒や紙コップ等に入れてから飲むことを指導し、使用しています。

### ●感染防止の3つの基本 ①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗い

□人との距離は、できるだけ2m(最低1m)あける。 → **ソーシャル・ディスタンス**

□遊びにいくなら屋内より屋外を選ぶ。

・放課後や休日の不要不急の外出は、控えましょう。

□外出時にはマスクを着用する。

□家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える。シャワーを浴びる。

□手洗いは30秒程度かけ、水と石鹸で丁寧に洗う。(手指消毒液の使用も可)

・感染症は新型コロナウイルス感染症だけではありません。